

初めての緑育出前授業

青年部会熊本県支部長 今村和博

青年部会熊本県支部は10月29日の5・6時間目授業(13:30~15:20)を活用して、6年生を対象に同支部としては初めての授業を開催した。



「熊本県詫麻北小学校での緑育出前授業の様子」

本年7月頃、九州ブロックにおいて、熊本県だけ緑育を実施していない旨を東熊本県支部長に相談し、ご子息が通っている詫麻北小に緑育をさせて頂けないか問い合わせさせていただいたところ、快く承諾していただいた。数回の打ち合わせの結果、10月29日6年生(67名)を対象に緑育を実施することが決まった。

7月29日に青年部会熊本支部例会を行い、緑育実施プログラムを検討。翌8月5日に第2回目、同月24日には3回目の例会を行い、5時間目は、室内で授業を行い、6時間目は、この木なんの木? 樹木の名前当てクイズを行うことに決定した。担当も振り分け、作業は効率がよくなった。

9月7日と9月15日に4・5回目と話し合い授業内容を選定し、10月1日には、熊本県支部と青年部と合同でリハーサル。そして、10月13日には、最終調整・確認を行った。当日は、熊本県支部の研修会も兼ねており、青年部も合同で参加した。

5時間目の緑に関する授業については、緑の面白さを感じてもらい、次に緑が私たちにどう関わっているかを説明し、最後に、緑の役割や緑の大切さについて授業した。

6時間目の“この木なんの木?” 樹木の名前当てクイズは、5時間目の授業内容を踏まえて実際にさわったり、見て感じたり、匂ったり樹木の説明もしながら楽しく体験型の授業を行った。

前準備として、詫麻北小の樹木調査・“この木なんの木?” 樹木の名前当てクイズのヒント作成・「緑育についてのアンケート」の作成・樹名板を隠すラミネートの製作・詫麻北小の校舎の写真・スクリーンやプロジェクターの確認・緑に関する授業の台本・スライドの制作を行った。

ビデオとカメラを使い、今後の緑育に役立てるためと学校や協会への報告も兼ねて撮影。

また、当日は、NHK熊本放送、KAB熊本朝日放送、熊本日日新聞が取材に訪れ、NHKとKABは、その日の夕方のニュースで放送し、熊日は、11月2日の新聞に掲載された。

当日の天候は、肌寒く風も冷たい天気でしたが、スケジュール通りに緑育を開始することを確認、

12:20 全員集合、校長先生・教頭先生への挨拶ののち、スクリーンやプロジェクターの準備、

“この木なんの木？”の番号札1～10までの設置を行った。

13:30 体育館に集合し緑育出前授業を開始、進行を大村氏が行い、授業を井上氏が担当、緑に関する授業を行い、緑の面白さ、緑の役割・大切さなどについて説明をした。あらかじめ、10班(1班6～7人)に分かれて座り、スライドが見やすいように扇方になってもらった。

また、実際に木に触れて葉っぱを比べた。

約45分間の授業ではあったが充実した内容であった。子供たちの笑い顔と真剣なまなざしを見た。

授業終了後、各班ともグラウンドに集合、10分間の休憩をとる間に筆記用具の準備をしてもらい“この木なんの木”を開始。1班は、1番の木から、5班は5番から始め、班が重ならないようにした。講師が班に1～2人付き班ごとに行動してもらい、樹木名を当てもらった。講師が、樹木の説明をすると感心したり、驚いたりしていた。しかし、託麻北小の生徒たちは、ヒントを見ると答えがわかり驚かされた。ヒントが簡単すぎたと反省した。託麻北小は、たくさんの木があり、生徒が樹木に関心を持っていることに、大変うれしく思った。

また、「この場所にサルスベリがあったのは知らなかった。」「ハナミズキがあるのは知らなかった。」という声が聞かれ効果はあったと思う。

10種類の樹木名を記入したのち全員体育館に集合、佐藤・芳坂による答え合わせを行い、1問ごとに手を挙げて答えてもらった。また、質問にも答えた。

最後に東熊本県支部長の挨拶があった後、子供たちからお礼の言葉をいただき緑育を終了した。

また、全員で記念撮影を行った。

緑育終了後、アンケートのお願いをし、後日回収することにした。ラミネートを外し、ゴミを片づけたのち教頭先生へ挨拶をし、学校をあとにした。何より私たちが一番楽しい体験をさせて頂いたことに感謝した。懇親会において反省会を催した。その中での反省は“この木なんの木”の回答を簡単すぎたのではないかという提議があった。また、体育館から運動場への移動の際、思った以上に時間がかかってしまい、次回の“この木なんの木”で検討することで合意した。

最後に子供たちに「楽しかったですか？」と聞いたところ、ほとんどの子供が手を挙げてくれました。この4ヶ月間、子供たちにどうしたら緑の大切さがわかりやすく伝わるか、樹木に興味を持ってもらえるか、何度も話し合ってきたその努力が、「はい、はい」という声が聞こえた瞬間、報われた気がしました。今回、熊本で初めて行った緑育だが、私たちは、たくさんの宿題をもらって帰った。緑が大切なんだという子供が増えるようにこれからも努力していきたいと思う。

授業の感想抜粋(学童・先生)

- * 今日学べたことを忘れずに木などの植物を大切にしていきたいと思います。
- * 植木協会の方々には準備からいろいろやっていただきました。本当に感謝しています。
- * 今日は緑の事について学んだので今日の事を忘れずにこれから緑を大切にしていきたいです。
- * NHKからの取材をうけてすごく緊張しました。でもこの勉強のおかげでこれからは自然を大切にしていこうと思います。
- * 木はあまり必要ないのかと思ってましたが、木のおかげで生活できていることを知って木を大切にしないといけないと思いました。
- * 今日学んだ木の他にもどんな名前の木があるか調べてみたいです。
- * 自然と親しむ、ふれあうという事はすごく大切ですごくすてきな事だなと思いました。今日の学習は大人になっても考えていけないといけないと思います。今日はいそがしい中ありがとうございました。

- *今日の勉強で傷んだり苦しい思いをしている木もあったので土をかぶせたり育ちやすい環境にしたり、未来のために自分たちにできることがあればやっていきたいなと思いました。
- *今日の授業でますます緑が好きになりました。自然を大切にしていきたいと思います。
- *また今日みたいな授業をやりたいです。ちがう問題を用意してきてほしいです。
- *木がなかったら暮らせないと思いました。木は役に立っていて、生活に欠かせないと思ったのでこれからは今まで以上に木を大切にします。
- *こんな授業はすごく楽しく毎日でもあきないくらいです。またいつかこの授業を受けたいです。
- *今日学んだ事を生活に生かしていければいいと思います。とてもためになりました。
- *丁寧に教えてくれたので勉強が進みました。今日勉強したことで緑の事を改めて知ることができました。これからも緑を大切にしたいと思います。
- *今日の授業でたくさんの緑や緑育についてくわしく知ることができました。本当にいい授業をうけることができました。
- *自然の事についていっぱい聞きました。今地球温暖化が原因でヒートアイランド現象が起こっているけど、予防するには木をいっぱい植えるといいそうです。僕の家にはあまり木が植えてないので植えてみます。今度から自然を大切にしたいです。
- *普段は先生も生徒たちも忙しくて木の名前など考える余裕のない日常ですが、緑を見るだけでリフレッシュできると思いました。そのような意味でも子供たちの中にある「切れる」とかの問題に対応するにもすごく効果があるのではないかと思いました。このような授業から身の回りの環境や自然に興味を持つ児童も出てくるだろうと思います。(先生)
- *事前の準備や打ち合わせ等本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。子供たちの興味を引く工夫をされたり楽しくされたりと初めてとは思えない内容でした。ありがとうございました。(先生)